

## ちいさな証

## 私のビジョン

アーノルド・シュヴァイツァー

スイス日本語福音キリスト教会

スイスJEGとの関係は1993年の教会創立以来です。この教会で、JEGの若者と一緒にリーダーとしての経験を得ることが出来て感謝しています。ここ数年はJEGでの奉仕を中止せざるを得なくなりましたが、皆さんとの繋がりは未だに強く感じています。ですから、来年の初めにアラブの国へ行く前に私のビジョンについて分かち合いたいと願っています。

## ”なぜアラブの国へ？”

13歳の時、私は洗礼を受けてイエス・キリストの弟子となりました。イエスが私の主であれば、彼に従うべきだと理解しました。将来、何処で何をするのかは私が決定するのではなく、主イエスが決めることだと、その頃分かるようになりました。

18歳の時、ミッション会議に参加し、こういう話を聞きました。2000年前、イエス様は彼の弟子達にこう言われました。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」  
マタイの福音書 28章18～20節

“すべての人々の所に行きなさい”と命じられた私たちは、その命令にどの位の人が従ったのでしょうか？ 実に、世界の三分の一の人々はまだ福音を聞くチャンスがありません。しかし、ほとんどの宣教師はクリスチャンが多い国々に行きます。まだ福音を聞く機会がない人々のほとんどがイスラム教の人々なのです。

私はそのミッション会議でこういう統計を見て感動しました。イエス様から与えられた仕事を達成しようとするなら、誰かがイスラムの世界に行かなくてはなりません。そのことが論理的にも当然なことだとその時に分かりました。その日、私は主にこう祈りました。「イスラムの世界にあなたの弟子として行きます。イエス様、この願いが間違っているなら、私を止めてください。」

数年が過ぎ、私は初めて中東のある国について聞きました。面積はイタリアより大きいですが、人口は僅かです。この国の人々は、ほぼ100%イスラム教です。はじめてこの国について聞いた時、彼らの中にイエスについて行く弟子は10人しかいませんでした（今でも、50人しかいません）。それを聞いたとき、また不思議と感動しました。そして、この中東の国の人々の為に祈り始めました。

大学の語学コースでアラブ語を選択しました。そして、その頃、宣教団体が主催した旅行団に参加しました。その最後の日、ハガキを送りたかったので郵便ポストをさがしていました。空港のセキュリティのあとにポストがあるとわかれて、手荷物検査を通過しました。しかし、ポストはどこにもありません。また手荷物検査に戻り、空港警備員に尋ねました。一人の若いお巡りさんは私にこう答えました：「携帯番号を交換できたら手伝いますよ！」

私は喜んで携帯番号を交換しました。そして、そのお巡りさんと一緒に空港の外に出て、郵便ポストを見つけたのです。私の拙いアラブ語で彼となんとか会話ができました。彼は私にこういう質問をしました：

歳はいくつですか？ 結婚していますか？ ラクダは好きですか？

そして、お巡りさんの案内によってセキュリティを通過しました。そのときから、そのお巡りさんとWhatsappで連絡をとっています。旅行のあと、神様からははっきりした声は聞けませんでした。このアラブの国に行くことが次の一歩だと何とか分かりました。宣教団体に連絡し、一応、首都の文化と言葉の学びに行く事にしました。

そのあと、大学の友人を通じて、南部の言語について詳しい言語学者との関係ができました。南方に住む民族はまだ自分達の言語でイエス・キリストについて聞いたことがありません。首都で文化と言語の“修業”のあと、チームを結成して、南部のSと言う町に行きたいという願いが私の心のなかでどんどん強くなりました。

同じ頃に、空港のお巡りさんからビデオメッセージが届きました。ビデオで見た景色はその国の南部のものに違いないとすぐに分かりました。驚くことに、彼は南のS町に転勤となったのです。お巡りさんからのビデオメッセージは、私にとって神様からの素晴らしい確認でした。将来、その土地に福音が伝えられるように、皆さん、ぜひ私と一緒に祈ってください。

皆さんの長い間のお祈りを心から感謝しています。私のミッション・ビジョンは自分の為だけではなく、JEGの皆さんの為でもあります。このJEGにおいて、世界中へ主イエス様の福音を喜んで伝える行く弟子たちが育てられることは、私の切なる願いであり、祈りの課題です。

\*安全上の理由で氏名は仮名にいたしました。

